



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年6月28日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

「感染爆発を許した米国の実態」 7月1日(水) = 特集面



新型コロナウイルスの感染者と感染死者が世界最多の米国。トランプ大統領は当初、「完全にウイルスを制御している」と豪語していましたが、政権の対応に誤りや遅れはなかった

のでしょうか。感染爆発が起きた経緯を振り返ると、トランプ氏が進めてきた「自国第一主義」の弊害や、多民族社会のゆがみが浮かび上がってきました。



論点

「マイナンバー社会の到来」

7月3日(金) = オピニオン面

新型コロナウイルスに伴う10万円の給付をめぐる混乱を受けて、政府はマイナンバーカードの普及促進を加速させる方針を打ち出しました。預貯金口座情報との連結義務化、運転免許証との一体化など

の案が観測気球のように上がります。一方でプライバシー権の侵害を懸念する声も少なくありません。推進する立場の与党幹部や、慎重派の弁護士らの話に耳を傾けます。



マイナンバーの暗証番号の設定に来る人が多く、「4時間待ち」を知らせる紙を持つ福岡市東区職員 = 5月8日、平塚雄太撮影

特集 ワイド

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、スポーツイベントは中止や延期、縮小に追い込まれました。その影響はトップアスリートのみならず、運動に親しむ多くの市民にも及んでいます。対策を取りながらの新しい生活様式を築く「ウィズ・

コロナ」の時代、アスリートたちはどのような状況に置かれているのか。市民スポーツが再び盛り上がることはあるのか。北京オリンピック、朝原宣治さん(48) 写真IIに聞きます。

6月29日(月) II 夕刊特集ワイド

コロナでスポーツはどうなる
北京五輪メダリスト・朝原宣治さんに聞く

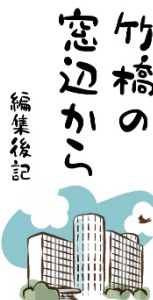
新型コロナで「クールシェア」どうなる

6月30日(火) = 暮らしナビ面



冷房の利いた公共施設や飲食店などに集まって涼しさを共有し、節電や熱中症対策などにつなげる「クールシェア」。全国の自治体に取り組みが広がっていますが、今夏は新型

コロナウイルスの感染予防対策との両立を迫られています。「3密」を回避しながら涼しさをシェアできるのか。試行錯誤する現場取材しました。



竹橋の窓辺から

編集後記

「記事すこ」スターから約一月半。お楽しみいただけいますか？

当初は、ひとつの版で全エリアにお届けしていましたが、現在は夕刊発行エリアとそれ以外向けに2パターンを制作しています。それだけに、編集部から原稿を受け取り、紙面の編集を行う金曜夕刻の担当は大忙し。その最大の幸せは、「これを見て購読を始めた読者がいたよ」という現場の報告です。その声はきょうも奮闘します。

(千代崎聖史)